

2025 年度 第 1 回教員推薦図書（2025 年 6 月）

危機管理学部 中林 啓修 先生

【初学者向け】

◆『大災害の時代 三大震災から考える』 五百旗頭真著 岩波現代文庫 2023 年刊行

昨年急逝された五百旗頭真先生による、関東大震災以降を中心に日本における大災害をまとめた一冊。

著者自身の被災体験を踏まえてまとめられた阪神・淡路大震災に関する記述は特に出色である。学問とは、頭に心を添えて行う人の営為であることを確認させてくれる名著であり、防災研究を志す初学者には必ず手に取ってほしいと思わずにはいられない本である。

【学部 2-3 年生以上向け】

◆『沖縄戦における住民問題』 原剛著 錦正社 2021 年刊行

陸上自衛官であり、退官後も戦史教官として後進の育成に努めた原剛氏による、沖縄戦を理解する上で欠かせない一冊。

住民の 4 人に 1 人が死亡したとも言われる膨大な犠牲が生じた沖縄戦について、しっかりととした史料に裏付けられた冷静な筆致で描かれており、その指摘は沖縄戦研究だけでなく、現在の国民保護についても大きな示唆を与えてくれている。当該分野の研究を志す学生にとって必読の一冊といえる。

【学部 4 年生および大学院生向け】

◆『つながりが生み出すイノベーション サードセクターと創発する社会』

菅野拓著 ナカニシヤ出版 2020 年刊行

防災をめぐる市民セクター研究、そして被災者生活再建に関する研究のフロントランナーである菅野拓氏による渾身の一冊。

本書には、著者の経験とそれに基づく濃密な現地調査、文献調査そして伶俐な分析によって書き上げられ、東日本大震災で明らかになった災害対応における NPO など市民セクターの意義と働きが学術書として高い水準で示されている。高度な研究成果を目指すべき大学院生や大学院を志す学生には、分野にとらわれず、若手による研究の一つの理想型として本書を手に取ってみてほしい。（※品切れのため入手不可・他学部に所蔵あります。取り寄せできます。）